

第4学年社会科学学習指導案

1 単元名 郷土を開く (17時間扱い)

2 本時の学習 (1/17)

(1) ねらい 江戸時代の土木工事の様子を描いた絵や見沼代用水の絵図などから、当時の人々の思いや願いについて調べようとする意欲をもつ。

(2) 展開

学習活動・学習内容	資 料
① 江戸時代の土木工事の様子を描いている絵を見て、気付いたことや疑問に思ったことを発表する。 ・くわで土を掘ったり、もっこで土を運んだりしている。 ・頭きんをかぶっている人が命令している。 ・機械ではなく、人の力で行われている。 ・どここの川を工事しているのだろう。 ② 見沼代用水の絵図を見て、気がついたことや疑問に思ったことを発表する。 ・見沼新田のまわりにはたくさんの村がある。 ・見沼新田は広そうだ。 ・見沼新田は川にはさまれている。 ・真ん中にある中悪水ってなんだろう。 ・見沼新田の左側にある黒い線は何だろう。 ③ 見沼代用水がつくられる前の見沼の様子について調べる。 ・およそ400年前は、湿地だった。八丁堤をつくって湿地をため井にし、下流の田んぼの用水とした。 ・大雨が降ると、ため井の周辺や上流の村々では増水による被害がおこった。 ・およそ270年前、ため井を開発して、新しく田んぼ(新田)をつくる計画が立てられた。 ・ため井の水の代わりに、利根川から用水を使って引くことにした。 ④ 学習問題をつくる。	・赤堀川切広図 (田口栄家1797) ・関東川々絵図 (会田家8308) ・副読本
昔の開発は、人々のどのような願いから、だれによってどのように行われたのでしょうか。	